

芸術文化を通じた支援と新体操選手団の受け入れ

# ウクライナへの支援から 生まれた本市との絆

市はこれまで、ウクライナからの避難民などを支援する募金や、昨年10月の同国新体操選手団の避難受け入れなど、ウクライナへの支援を続けてきました。今年1月には、高崎芸術劇場ウクライナウィークや、ウクライナ新体操選手団の2回目の避難の受け入れを新たに実施。ウクライナの人々と高崎市民とのつながりは、ますます強いものになっています。



安全な環境で練習に打ち込む



高崎新体操クラブの子どもたちと合同練習



市長から記念品を贈呈

プレゼント交換などの交流も



ウクライナ選手が子どもたちに基本的な動きを教える

## ウクライナ新体操選手団の 2回目の受け入れ

市は、1月18日から、ウクライナ新体操選手団29人の避難を受け入れています。昨年10月に同選手団を受け入れたことがきっかけとなり、再び本市への来訪を希望。今回の受け入れにつながりました。滞在は2月15日(木)までで、市内の新体操チームなどと合同練習を行います。

1月19日には、富岡市長が高崎アリーナで選手らを激励。「高崎市民は皆さんを応援しているので、安心して練習に取り組んでください」と笑顔で話しました。ヘッドコーチのイリナ・デリューギナさんは「再び高崎で練習できることが本当にありがたい。高崎は第二のわが家です」と感謝の気持ちを表しました。

## 高崎芸術劇場 ウクライナウィーク

高崎芸術劇場では、1月14日のウクライナ国立歌劇場によるオペラ「カルメン」の上演に合わせ、1月9日～15日を「ウクライナウィーク」として、チャリティーコンサートなどを実施しました。

ウクライナ人歌手のカテリーナさんによるコンサートでは、同国の民族楽器・バンドゥーラの音色にのせて、ウクライナ民謡や日本の歌を情感豊かに披露。「ウクライナ国立歌劇場『第九』」は、同歌劇場のオーケストラと合唱団、高崎第九合唱団ら総勢約220人が共演し、ベートーベンの「交響曲第九番」を平和を願って盛大に演奏しました。来場者から寄せられた寄付金440万5,733円は、全額ウクライナ国立歌劇場へ寄付されました。



観客を魅了したオペラ「カルメン」



カテリーナさん

来場者と言葉を交わす場面も

## ウクライナ新体操選手団を支援する募金を行っています

問い合わせ先 = 文化課 ☎027-321-1201

市は、ウクライナ新体操選手団を支援するための寄付を受け付けています。これは、本市に避難している選手たちを支援したいという声が全国から多く寄せられていることを受けて、実施しているもの。同国の情勢に合わせて、当面の間受け付けます。

募金は、市役所1階や各支所、高崎アリーナ、高崎芸術劇場などに設置した募金箱や、ふるさと納税で受け付けています。また、企業や団体からの寄付も受け付けています。詳しくは、市ホームページ(右記)を確認してください。支援へのご協力をお願いします。



劇場内に募金箱を設置



「第九」の上演後、観客から惜しめない拍手が送られた